

第7回アジア冬季大会 2011年1月31日-2月6日 カザフスタン国アルマトイ市

イランが冬季大会で銀メダルを獲得！モンゴルも銅メダルを獲得した。オリエンテーリングはアジア各地に広がっている。

2011年1月31日-2月6日
第7回アジア冬季大会
カザフスタン共和国アルマトイ市



スキーオリエンテーリング男子リレー
2位でフィニッシュするイランの選手

これはイランがこのアジア冬季大会で獲得した唯一の銀メダル。ほかにもイランはこの競技で銅メダルをひとつ獲得している。

この事実はきっとイランのスポーツ関係者にも知らされる。これはイラン国内のフットオリエンテーリングにもよい影響を与えるだろう。



スキーオリエンテーリング女子リレー。
3位でフィニッシュするモンゴルの選手

活躍するモンゴル

モンゴルにとっても忘れられない大会になった。メダルの色こそ銅にとどまったが、リレー男子、リレー女子、男子ロング、男子スプリントのメダル4個をモンゴルにもたらした。

モンゴルがこのアジア冬季大会で獲得した5個のメダルの8割をこのスキーオリエンテーリングで稼いでいる。この結果もまた、モンゴル国内でのオリエンテーリングにより影響を与えるだろう。

日本が参加できていたら？

この大会に向けて特別強化されたカザフスタン・スキーオリエンテーリングチームは男女4種目で合計8個の金メダルをさらっていった。

今回不参加だった日本が、仮に参加

していたとしても、このカザフスタンの金メダル独占を阻止することは厳しい。リレー種目で、もしかしたら金メダルを日本が奪っていた可能性があるくらいだ。これが銀メダルであれば、日本は全種目8個の銀メダルが狙えた状況だった。

だが日本のスポーツ界やマスコミにおいて、アジア冬季大会のメダルとして評価されるのは金メダルのみである。次のアジア冬季大会でスキーオリエンテーリングが行われた場合も、日本選手に金メダルを競える実力があるのかどうかが問われることになるだろう。

そのためにはカザフスタン男子のミハエル・サロキンの実力、女子のノビコワの実力を上回る選手強化が必要なのだ。

(木村佳司)



女子リレーで銀メダルの韓国選手はバイアスロン選手から選抜され役員はオリエンテーリング連盟の人が派遣されていた。



イランが銀メダル

第7回アジア冬季大会でイランが銀メダルを獲得した。この報道に誰もが耳を疑ったに違いない。イランでウィンタースポーツなんて聞いたことがない。実際は北欧に住んでいるのかもしれないのだが、イラン人が3人のリレー競技で銀メダルを獲得したことは事実だ。